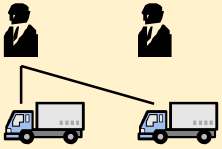
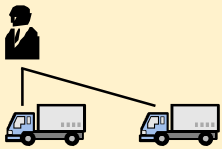
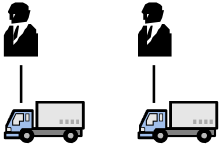
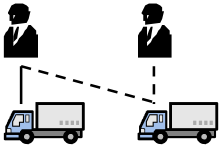
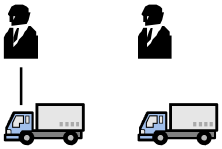
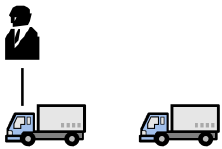


隊列走行の形態について

		形態	特徴・検討項目
牽引に準じたものとして取り扱う場合	①	有人－有人 (非運転者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・先頭車の運転者が、後続車の運転者となる。 ・現行の牽引との整理が必要。 <ul style="list-style-type: none"> －車列間の車間距離、走行速度 －車列の台数・全長 －走行すべき車線 －先頭車の運転者に係る義務 －合分流時、割込防止等における周囲の他の交通主体に係る義務や注意事項 －運転免許制度等の在り方 －電子連結が途切れた場合の取扱い －後続車両に不測の事態が発生した場合の対応
	①'	有人－無人 	
牽引に準じたものとして取り扱わない場合	②	有人－有人 (運転者) 後続車両がSAEレベル2 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行において可能。 ・後続車の運転者にセカンダリタスクは認められない。 ・車間距離として、「・・・その直前の車両等が急に停止したときにおいてもこれに追突するのを避けることができるため必要な距離を、これから保たなければならない。」(道路交通法第26条) ・ODD内における後続車の運転者のセカンダリタスクの要件について検討が必要。 ・ODD内において、後続車の運転に係る義務の一部を先頭車の運転者が負うことについて検討が必要。 ・車間距離として、「・・・その直前の車両等が急に停止したときにおいてもこれに追突するのを避けることができるため必要な距離を、これから保たなければならない。」(道路交通法第26条) ・SAEレベル4以上の検討が必要。
	③	有人－有人 (運転者) 後続車両がSAEレベル3 	
	④	有人－有人 (非運転者) 後続車両がSAEレベル4以上 	
	④'	有人－無人 後続車両がSAEレベル4以上 	

※ 乗車している者が車両の運転者である場合、当該車両と運転者を実線でつないでいる。(運転の義務の一部を負うと考えられる場合には点線でつないでいる。)